

1 単 元 名 てんとうむしを さがそう

2 指導要領の目標と内容

(1) 目 標

身近に見られる生物を探したり世話をしたりさせて、生物の著しい特徴に気付かせるようにするとともに、生物に親しむ楽しさを味わわせる。

(2) 内 容

いろいろな動物を探したり飼ったりさせながら、動物の食べ物、体の形、動きなどの特徴に気付かせる。

3 活 動 例

野原にてかけて、いろいろな虫さがしをしよう。

例1 野原にいる虫をさがしに行く計画を立てる。

- どんなところに、どんな虫がいそうか。
- 観察のしかたは、どうしたらよいか。
- 捕まえる方法や虫を入れる入れ物は、どうしたらよいか。

例2 学校の近くの野原にてかけて虫さがしをする。

- 虫のいそうなところをさがす。

- ・ 石の下
- ・ 建物のかげ
- ・ 落ち葉や堆肥の中
- ・ 草むら
- ・ 木の根元、幹
- ・ 池の中、水面

※ 虫さがしの場合、すぐに捕まえさせるのではなく、捕まえる前に、虫のいる場所、あたりの様子をよく観察させる。

※ 必要以上に虫をとらせないようにする。

- 虫の動く様子を観察する。

※ 虫の動きを動作で表わすなどもとりいれたい。

テントウムシを飼ってみよう。

例1 テントウムシの家づくりをする。

※ テントウムシを採集した付近の草花などをそろえ家作りをさせる。



(東書)